

---

---

# 藤久保地域拠点施設基本計画策定支援業務 第4回検討委員会

令和2年2月27日  
三芳町

---

# 1. 配置計画について

---

# 1. 配置計画について

対外厳秘

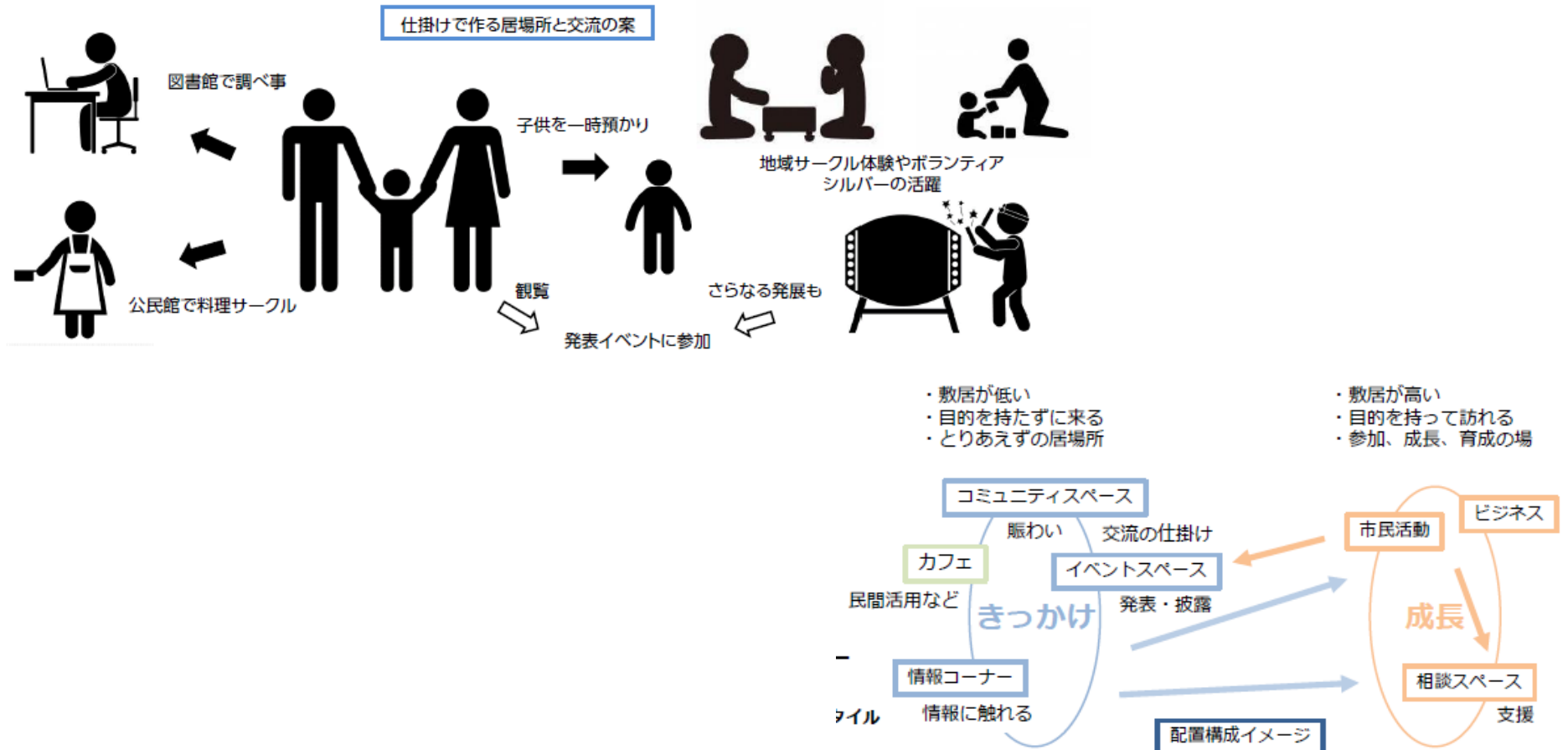
- A3資料を参照。
- 仮設校舎を建設しないことを優先する場合、案Ⅱと案Ⅲが有力。
- 案Ⅱでは図書館等の複合施設と小学校校舎が離れる。特別教室の一般開放を積極的に行う場合、やや動線が長くなることが懸念点。
- 案Ⅲではグラウンドが北側配置となるため、グラウンドの一部が日陰となることが懸念点。日影図を作成し更なる検討を行う。

## 2. 施設規模について

---

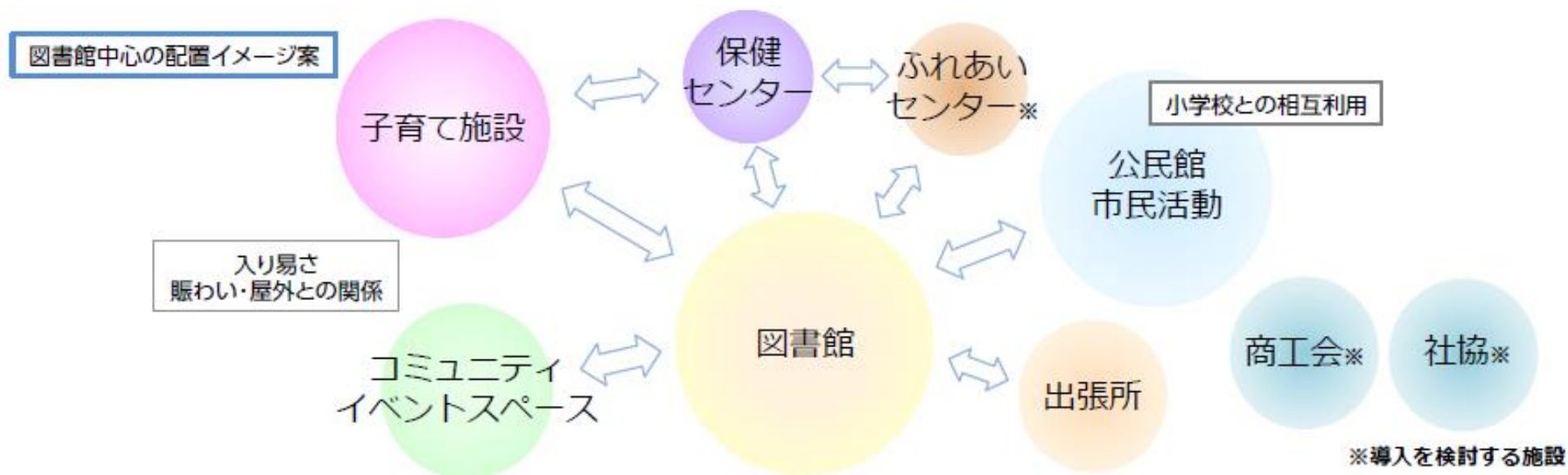
# 1. 複合施設の基本的な考え方

- 本施設が「情報発信拠点となり新たな出会い・交流を生み出すこと」、「様々な年齢・目的の利用者にとって居場所となること」、「活動団体の交流を生み出し新たな活動を生み出すこと」を目指して、いままで別棟でばらばらに運営されていた施設を、一体化・複合化し、サービス提供も一体的に行う。



## 2. 核となる施設・サービス

- 中心的な施設として、住民の利用率が高い図書館を位置付ける。
- 図書館は、全年齢が集える施設であるとともに、知識や資料が活動の中心となる。



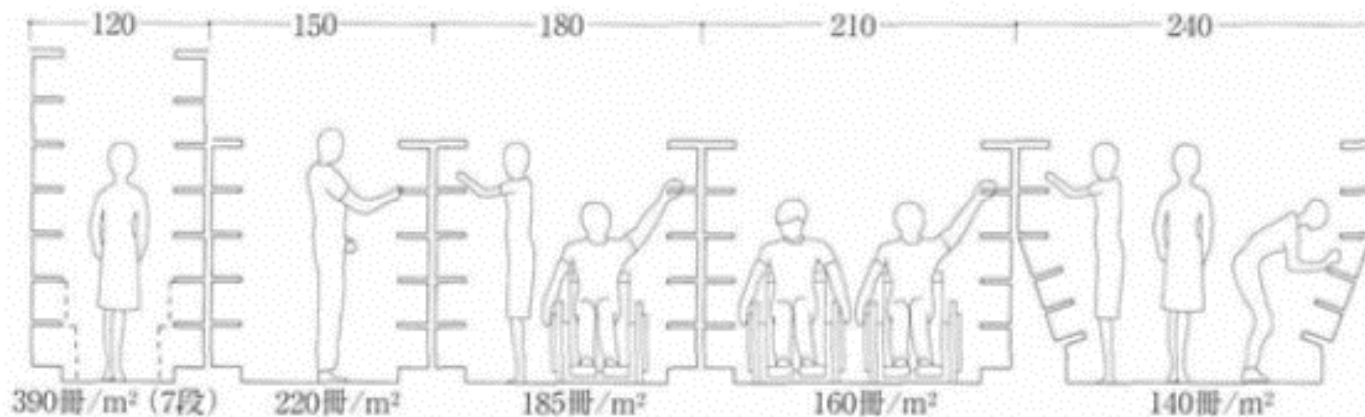
### 3. 図書館のバリアフリーおよび規模設定

- 既存図書館の書架は、バリアフリーや快適性の観点から課題がある。
- 利用者の快適性、将来的な利用者の高齢化等を見込み、本施設では書架ピッチと段数をバリアフリーに配慮した一般的な水準に設定する方針で検討している。

	既存施設	
	収容冊数	面積
開架書架	148,940冊	587m <sup>2</sup>
閉架書架	123,471冊	102m <sup>2</sup>



新規施設	
書架ピッチ	面積
1.5m、段数5段	880m <sup>2</sup>
1.8m、段数5段	1,050m <sup>2</sup>
移動棚、段数7段	180m <sup>2</sup>

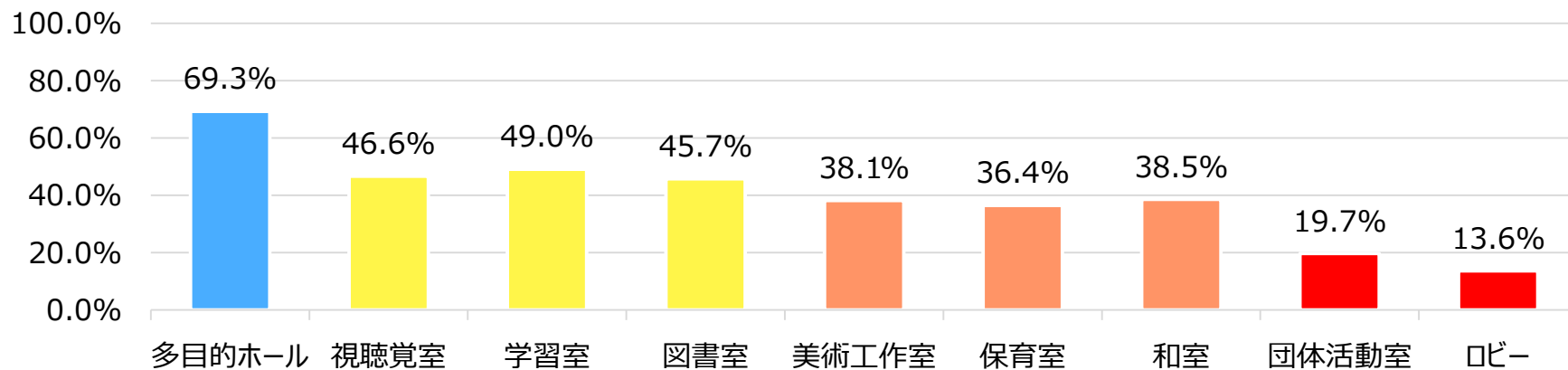


出所：日本建築学会建築設計資料集成

## 4. 稼働率

- 総延床面積の上限がある中で図書館を適正規模とすると、その他の諸室に影響がある。そこで、主に公民館を対象に時間別稼働率を分析した。
- 多目的ホール以外については時間別稼働率の改善余地がある。

公民館諸室の時間別稼働率

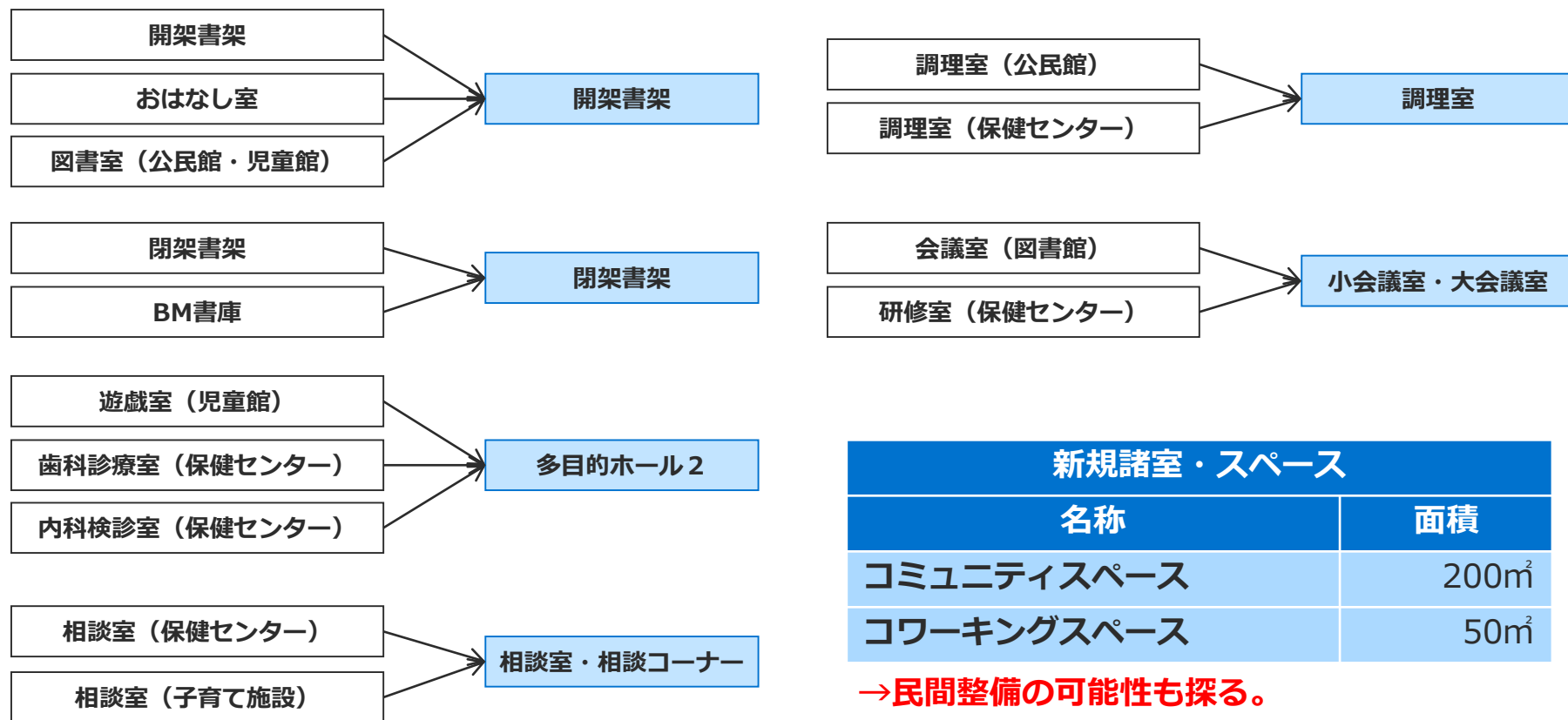


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
多目的ホール	68%	62%	69%	69%	55%	71%	69%	79%	70%	65%	82%	73%	69%
視聴覚室	41%	43%	41%	45%	33%	45%	57%	60%	48%	50%	46%	50%	47%
学習室	51%	43%	55%	43%	39%	44%	47%	62%	49%	46%	58%	54%	49%
図書室	39%	42%	51%	42%	34%	42%	51%	61%	42%	44%	55%	45%	46%
美術工作室	35%	32%	40%	35%	26%	34%	45%	53%	42%	32%	38%	46%	38%
保育室	26%	28%	33%	31%	25%	32%	66%	52%	36%	34%	36%	37%	36%
和室	39%	25%	37%	41%	24%	29%	39%	52%	41%	41%	46%	48%	39%
団体活動室	16%	14%	16%	14%	14%	18%	18%	38%	28%	17%	23%	22%	20%
ロビー	0%	0%	0%	0%	0%	0%	47%	14%	8%	4%	4%	83%	14%



## 5. 諸室共有化の考え方

- 別紙面積表とモデルプランを参考。稼働率向上を見込みいくつかの室は共有化を図る。
- 本町における藤久保地域の位置づけ、また団体ヒアリングや先進事例を参考に、本施設において新たに求められる諸室を想定。

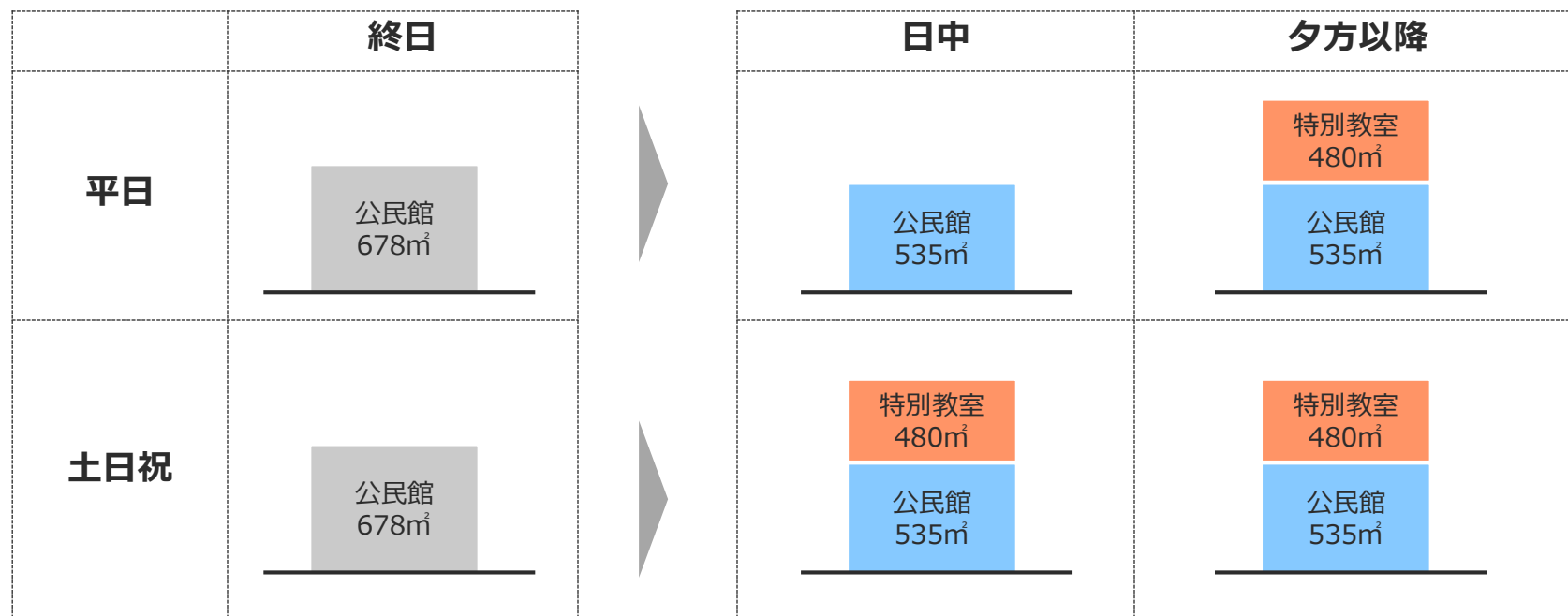


新規諸室・スペース	
名称	面積
コミュニティスペース	200㎡
ワーキングスペース	50㎡

→民間整備の可能性も探る。

## 6. 運営上の工夫～特別教室の活用

- 運営上の工夫により公共施設の稼働率を高めることで、貸室利用の快適性・利便性を高める。
- 小学校の特別教室を平日放課後及び休日・祝日に一般開放。
- 特別教室の稼働率を高めることで、全体として利用可能な諸室を増加させる。



※現時点の案です。学校開放の範囲、セキュリティ等の対応方針は継続的に検討します。

## 6. 運営上の工夫～予約システムの改良

- 予約枠（いわゆるコマ割）を細かく設定するとともに、予約システムを導入することで、貸室の稼働率を高める。
- また活動内容や年齢等によって先行予約の仕組みを導入することも検討する。

### 予約枠の改善

- 予約枠を30分刻みなど細かく設定することで、利用者にとって最適な枠をピンポイントで予約することが出来るようになる。
- 予約者や予約団体のID登録等を行えば、どの団体がどの程度利用しているのかを把握し、最適化に役立てることが出来る。



### 先行予約の導入

- 目的性の高い諸室などは、その目的にあった活動内容の団体の先行予約を受け付けるなどの方法が考えられる。
- 世代別の生活スタイルに合わせて、予約枠を設定することも考えられる。

音楽活動  
優先 等

高齢者  
優先 等

## 7. 施設毎の設定概要

- ・ 諸室リストにおける施設（属性）毎の考え方を整理。

### 【小学校】

- ・ 教室サイズを抑え、特別教室の確保
- ・ 生徒数予測から、最大教室数を算出
- ・ 将来的な可変性（配置）
- ・ 一般開放の可能性

### 【図書館】

- ・ 蔵書数を基に、書架スペースを算出（バリアフリー対応等）
- ・ 現状の事業は、学習室を利用
- ・ 基本構想面積より増

### 【公民館】

- ・ 既存の利用状況から必要諸室を整理
- ・ 諸室の数は減
  - ※ 共用会議室も利用
  - ※ 学校特別教室との相互利用検討

### 【保健センター】

- ・ こども関連施設と併用
- ・ 健診用資機材の専用倉庫
- ・ 相談機能（相談室、コーナー）

### 【こども関連施設】

- ・ 他館の閉館の可能性を考慮し、面積増
- ・ 児童館、子育て支援センター、ファミサポで、サービス内容が重複しているものは、同一施設で整理。
- ・ 多目的ホール2は保健センター健診と併用
- ・ 開館時間の違いにより、一般利用の範囲を検討。

## 7. 施設毎の設定概要

- ・ 諸室リストにおける施設（属性）毎の考え方を整理。

### 【ふれあいセンター】

- ・ 現ふれあいセンター（北永井）を維持
- ・ 一部機能のみ拠点に導入
- ・ 多目的室として、団体活動に供する室とする
  - ※老人クラブ連合会、ボラティア連絡会、協働のまちづくりNWなど
- ・ 関係団体で協議体を作るなどして自主管理の仕組みができれば理想的
- ・ 活動用ロッカーを設置

### 【社会福祉協議会】

- ・ 導入を希望
- ・ 基本構想の想定規模程度（従前規模）
- ・ 単独エリアでの整備（施錠）

### 【商工会】

- ・ 導入については未定（継続協議中）
- ・ 想定として、現状規模を維持

## 8. 本日まで議論いただきたい点

- 主に施設規模についてご議論いただきたい。

### 【本日の議題】

- 図書館を核とし、バリアフリー等に配慮した規模とすることに関するご意見
- 諸室の規模設定に関するご意見（諸室の共有化、新設する諸室・スペース）
- 運営上の工夫に関するご意見

※モデルプランに関する以下の事項は今後検討を行います。本日まで提示のモデルプランは、あくまで一例であり、設定した諸室面積が合理的に計画可能かを検証したものです。

- 建物の階数（2階建てでは計画できないのか）
- フロア構成
- 管理諸室の配置 等